

研究課題名

骨粗鬆症性椎体骨折（Osteoporotic vertebral fracture：以下 OVF）の除痛効果の後方視的研究

(1) 研究の概要

研究期間： 2019年 9月 1日 ～ 2023年 1月 1日

研究責任者：川崎幸病院 脳神経外科 大橋 聡

(2) 研究の対象

上記期間中に OVF と診断し、椎体形成術を行なった患者 88 例を対象としています。

(3) 研究の目的

骨粗鬆性椎体骨折（Osteoporotic vertebral fracture：以下 OVF）に対する椎体形成術は除痛効果及び圧壊進行予防に行われている一般的治療です。特に術式としては、これまで Balloon kyphoplasty（以下 BKP）があり、当院でも治療が行われてきました。しかし、2019年から、他の術式として、Vertebral body stenting（以下 VBS）が認可され当院でも導入となり、当院でも各治療が行なわれています。この2つの術式において、臨床現場で術後の痛みの変化に差があるのではと感じ、これに対して安全性や治療効果について後方視的に評価する目的です。

(4) 研究の方法（研究に使用する試料・情報の項目を含む）

対象期間中に OVF と診断した患者 88 例のうち、BKP は 57 例、VBS は 31 例を行いました。この方に対して、年齢、男女比、疼痛の変化や入院期間を評価項目としました。これらを後方視的に、診療記録を用いてデータの収集・解析を行い、安全性や治療効果について検討します。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、個人情報関連法令・通達などを順守し個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。
発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

(7) お問い合わせ先

この研究は、直接の同意はいただかずにこの掲示によるお知らせをもって同意をいただいたものとして実施されます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取扱い、その他研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 病院安全管理部（川崎幸病院 倫理委員会 事務局）
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町 31 番 27
TEL：044-544-4611（代表）